

1 首都高速都心環状線 新京橋連結路（地下）の新設

②整備計画（案）

12

続いて、首都高速都心環状線 新京橋連結路（地下）の整備計画の案をご説明します。

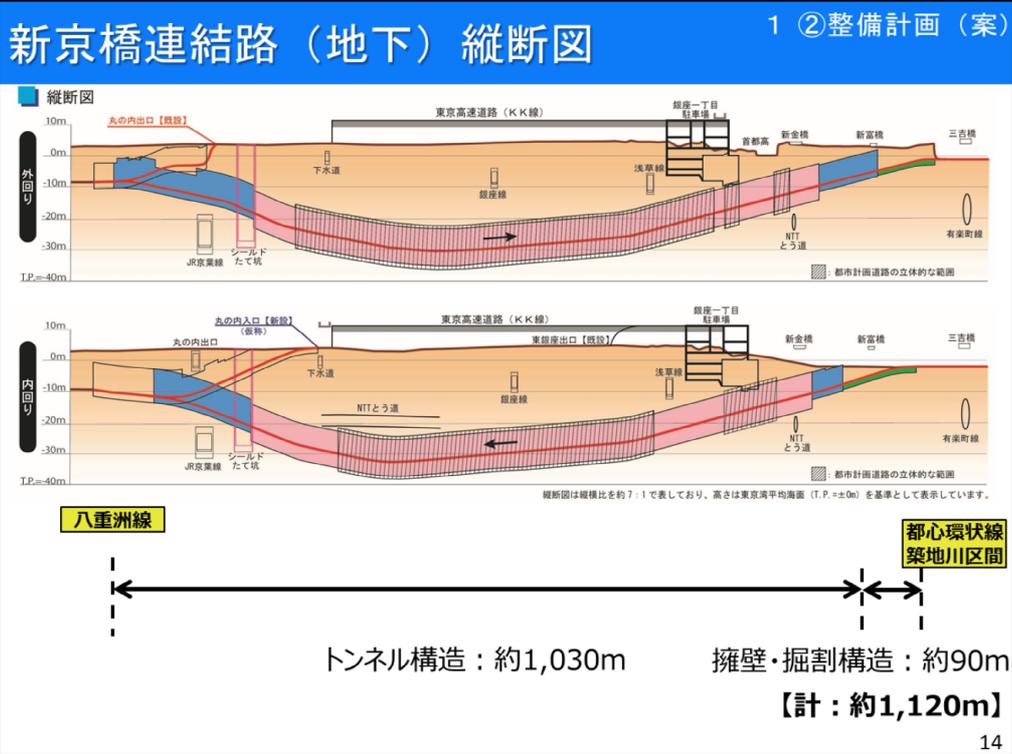


この図は、新京橋連結路の平面図です。

図面左側の八重洲線と右側の都心環状線築地川区間を地下で結ぶ、延長約1,120mの路線であり、車線数は片側1車線、往復2車線で計画します。

青色は地上から掘削して構築する開削トンネルの区間、ピンク色は地上からの掘削が不要なシールドトンネルの区間、緑色は擁壁、掘割部の区間を示しています。

なお、薄緑色は、新京橋連結路の整備に関連する工事の範囲であり、出入口の改修や築地川区間の擁壁の取替えなどを行います。



この図は、縦横比を約7対1とした新京橋連結路の縦断図です。
 延長約1,120mのうち、約1,030mがトンネル構造で、約90mが擁壁、掘割構造です。

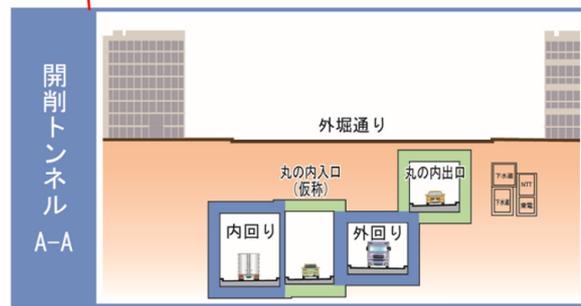
図面左側の八重洲線接続部から、JR京葉線を上越しし、外堀通り内に設置するシールドたて坑までの区間が開削トンネルです。

そこから先はシールドトンネルとなり、地下鉄銀座線と浅草線の下をくぐりながら地上に上がり、擁壁、掘割構造の築地川区間に接続します。

新京橋連結路（地下）横断図 A

1 ②整備計画（案）

【千代田区丸の内一丁目・中央区八重洲二丁目付近】



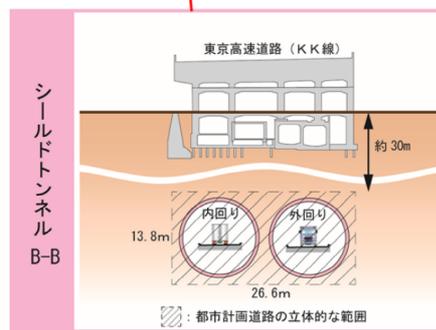
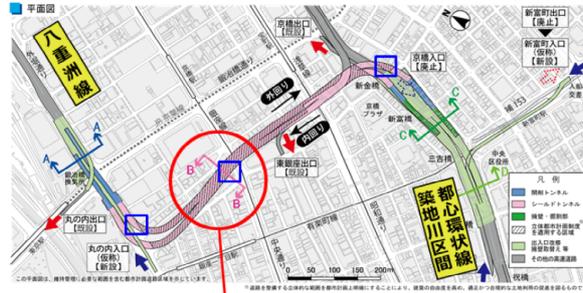
15

下の図は、八重洲線接続部の開削トンネルの横断図です。
既設の八重洲線を最大限活用しつつ、外堀通りの地下にトンネルを構築します。

新京橋連結路（地下）横断図B

1 ②整備計画（案）

【中央区京橋三丁目・銀座一丁目付近】



16

下の図は、シールドトンネルの横断図です。

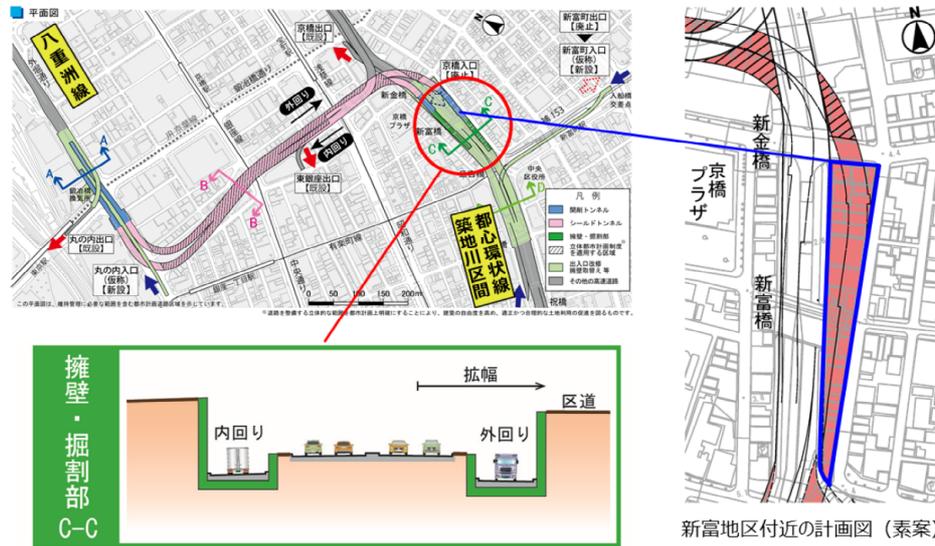
中央通りとの交差部付近では、地上からトンネルの上端までの深さは約 30m です。

主に、都有地に位置するKK線の下の地下空間を通過しますが、青枠の範囲では私有地を通過するため、都市計画決定後に用地補償説明会を開催し、区分地上権を設定する上での補償内容などのご説明を行います。

新京橋連結路（地下）横断図C

1 ②整備計画（案）

【中央区新富一・二丁目付近】



下の図は、築地川区間との接続部の横断図で、擁壁、掘割構造です。
 築地川区間の東側の青枠の範囲を拡幅する必要があるため、都市計画決定後に用地補償説明会を開催し、土地をお譲りいただく上での補償内容などのご説明を行います。

道路管理施設（鍛冶橋換気所）

1 ②整備計画（案）

【千代田区丸の内一丁目付近】



○設置する設備

トンネル換気設備、電気設備、避難通路等



現在の鍛冶橋換気塔



トンネル換気設備（イメージ）

18

続いて、新京橋連結路に関連する道路管理施設について、ご説明します。
まず、千代田区丸の内一丁目付近の道路管理施設です。
現在の鍛冶橋換気所を改築し、トンネル換気設備、電気設備、避難通路などを設置します。
換気塔は、現況と同程度の高さでの建て替えを予定しています。

道路管理施設（新富地区）

1 ②整備計画（案）

【中央区新富一丁目・二丁目付近】



- 設置する設備
排水設備、電気設備、
避難通路及びその加圧設備、維持管理基地



電気設備（イメージ）



維持管理基地（イメージ）



加圧設備（イメージ）

加圧ファン

19

続いて、中央区新富一丁目・二丁目付近に新たに設置する道路管理施設です。排水設備、電気設備、避難通路及びその加圧設備、維持管理基地などを設置します。